

Close Up

「音楽で暮らしに感動を届ける」ザ・シンフォニーホールの情報誌



Vol.22

2017 7-9 月
2017 7.10発行

TAKE FREE

3大協奏曲
～次世代を担う未来の巨匠たち～
インタビュー

前橋汀子
演奏活動55周年記念コンサート ザ・コンチェルト

東京佼成ウインドオーケストラ
第2回大阪定期演奏会
インタビュー

ほか
2017年7月～9月 コンサートカレンダー

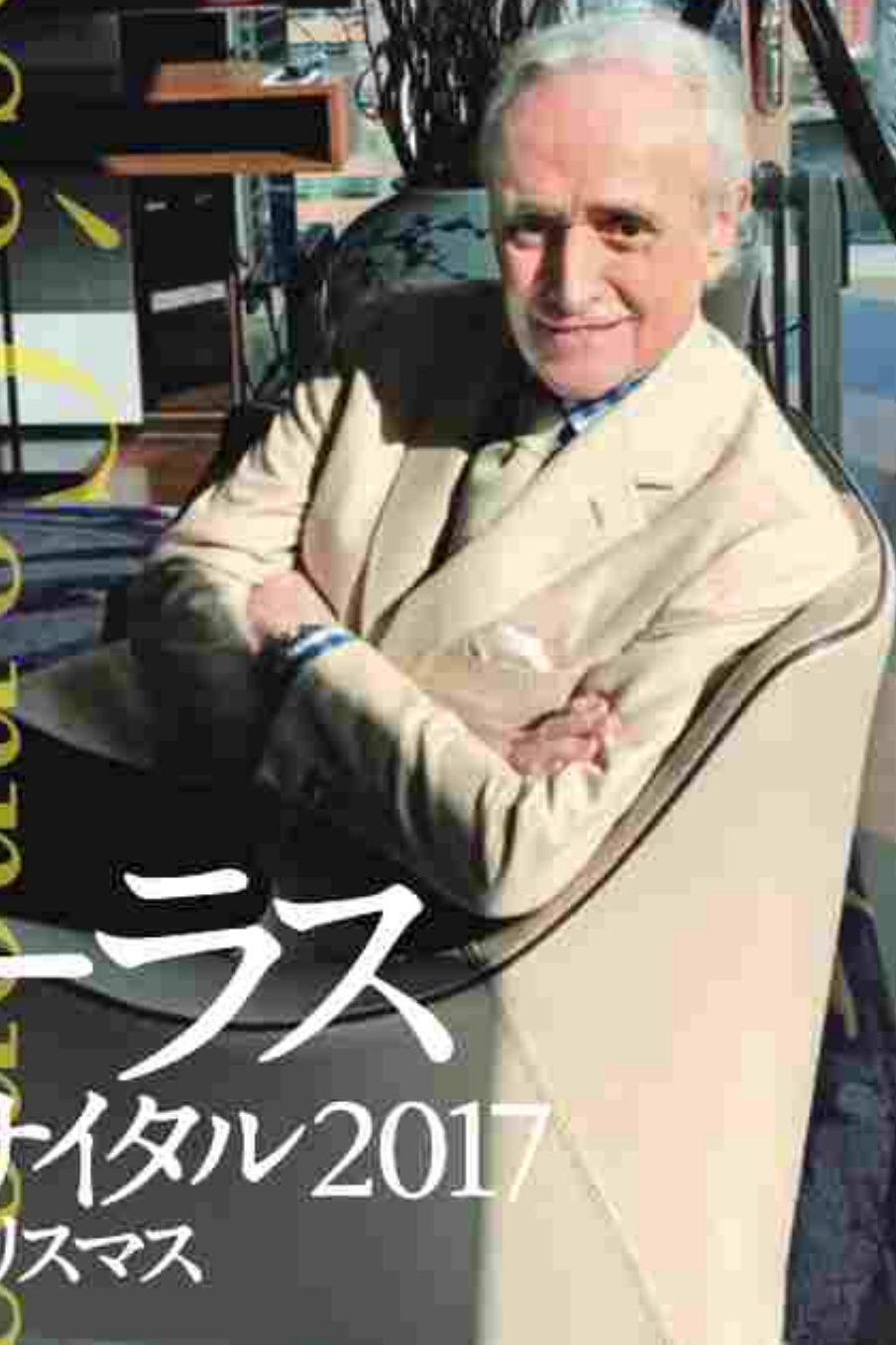
開館35周年の
ザ・シンフォニーホールに響く
至高の歌声

Sinfonia

シンフォニア

JOSE CARERAS

ホセ・
カレーラス
テノール・リサイタル2017
スピリット・オブ・クリスマス



- 2 ホセ・カレーラス テノール・リサイタル2017 スピリット・オブ・クリスマス スペシャルインタビュー
- 4 前橋 汀子 演奏活動55周年記念コンサート ザ・コンチェルト
- 5 3大協奏曲 ~次世代を招う未来の巨匠たち~ インタビュー
- 6 チェコフィルハーモニー管弦楽団
- 7 東京佼成ウインドオーケストラ 第2回大阪定期演奏会
- 8 The Symphony Hall String Quartet -20世紀のアメリカ- インタビュー
- 9 The Symphony Hall Chamber Ensemble Vol.3
The Symphony Hall Big Band ~Music Director 菊池寿人~ Vol.8
The Symphony Hall String Quintet Vol.2
- 10 ライト・シンフォニック コンサート ~大人の賢沢~
- 11 ファミリーで楽しむ夏のコンサート
- 12 大和証券グループPresents 西本智実指揮 イルミナートフィルハーモニーオーケストラ with さだまさし インタビュー
デューク エイセス インタビュー
- 13 古澤巖×ベルリンフィルハーモニー ヴァルトウオーゾ
長富 彩ピアノ・リサイタルvol.2「渾身!! ラフマニノフ」
(名曲シリーズ)大阪フィルメザ・シンフォニーホール ソワレ・シンフォニー Vol.10
シャープ・ソング・セレクション 2017
美しき日本のうた「ふるさと」
- 14 朝日放送主催公演・イベント情報
- 15 日本センチュリー交響楽団
- 20 welcome more musicians!
音楽を愛する団体が集うザ・シンフォニー・ホール
- 21 ホールトピックス
- 22 堀江政生のシンフォニア・アワー vol.22
- 23 Concert Calendar 2017.7~9
チケットご購入のご案内

シンフォニア会員登録方法

シンフォニア会員に会員登録いただき、無料でお届けの、シンフォニアのお届け、メールマガジンの受け取り等様々な特典をご利用いただけます。ぜひご登録ください!!

▼WEBサイトからの登録

ザ・シンフォニー・ホール ホームページ

<http://www.symphoniahall.jp/> からご登録下さい。

▼ハガキでの登録

定型ハガキに右記の情報を記載いただき、

62円切手を貼付の上、ポストに投函ください。

※必ずお名前、住所、電話番号を明記してください。また、Eメールの登録も必須です。

※会員登録の申し込みは、必ずしも必要ではありません。会員登録を希望する方は、必ず会員登録の申し込みが必要です。会員登録の申し込みは、必ずしも必要ではありません。会員登録を希望する方は、必ず会員登録の申し込みが必要です。

※本紙の掲載内容は、必ずしも正確ではありません。また、本紙の掲載内容は、必ずしも正確ではありません。また、本紙の掲載内容は、必ずしも正確ではありません。また、本紙の掲載内容は、必ずしも正確ではありません。

本紙の一枚「ホセ・カレーラス テノール・リサイタル2017 スピリット・オブ・クリスマス」
がチケットの利便性についてお詫言の紙です。本紙の利便性は、必ずしも正確ではありません。また、本紙の掲載内容は、必ずしも正確ではありません。



The Symphony Hall

先行予約:7/20(木)
一般発売:7/23(日)

★ ガーシュウィン

ス・ワンダフル

誰か私を見守って

サマータイム

私の彼氏

魅惑のリズム

ラブソディ・イン・ブルー

「ガール・クレイジー」序曲

★

★ ピアソラ

デカリシモ

ブエノスアイレスの冬

ブエノスアイレスの夏

天使へのイントロダクション

天使のミロンガ

天使の死

★



ソプラノ
石田 崇尚



ピアノ
高橋 洋太



ピアノ
山田 武彦



エレクトリックギター
大坪 純平



パーカッション
クリストファー・ハーディ

クリスマス・スペシャル・ナイト

三浦一馬とキンテート(五重奏)が贈る
ザ・シンフォニー・ホールでのクリスマス・スペシャル・ナイト!
気鋭のバンド・イン・オーケストラとして人気を博す
三浦一馬が、実力派ぞろいの
キンテートとタッグを組んで
クリスマス色に染まる季節に、
ステージを鮮やかに繰り広げる。
プログラムには、魅惑の旋律に彩られる
シンフォニック・ジャズの代名詞「ガーシュウィン」と、
繊細な美しさを聴かせる
ピアノという豪華な本立て。
聴くものの心を惹きつけるおきの
アンサンブルにご期待ください。

三浦一馬
キンテート

Mura
Quintet



三浦一馬キンテート
クリスマス・スペシャル・ナイト

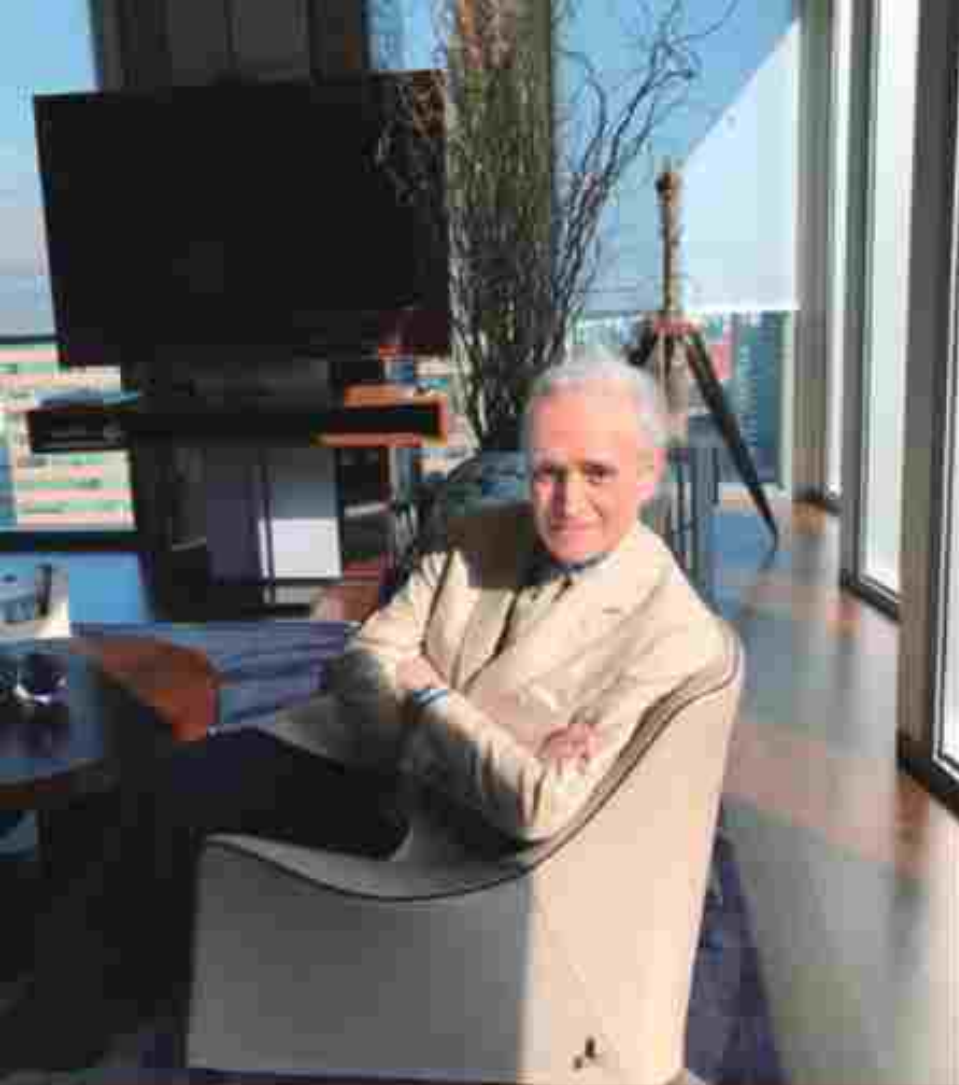
2017.12/9(土) 7:00PM

7/20(木)先行 7/23(日)一般

全席指定 4,000円

チケットの購入はザ・シンフォニー・ホールセンター 06-6453-2333

(※チケットの購入は必ずしも必要ではありません。)



熱的ですが大阪の街も大好きです。いつも大阪にいるときは天気がよいので、よく散歩を楽しんでいます。お気に入りのレス・トランもありません。食べ物がとてもおいしいです。

今回のコンサートは、ゴスプリング・オブ・クリスマスと題し、テーマにふさわしい聖なる歌でプログラムが組まれています。ストラデッラの「ピエタ・シンヨレ」、マスカーニの「アヴェ・マリア」(原曲は「ガヴァレリ」)、アルステイカーの「間奏曲」、シューベルトの「子守唄」、アルバレスの「祈り」といった

曲の並ぶピアノは長年コンビを組むロレンツォ・バウアーです。

「いつもリサイタルで歌う歌曲に加え、聖なる歌、公演に求めているみなさんへ、気に入ってくれると嬉しいです。選んだ曲はどれも好きな曲ばかりで、歌い続けていく曲でもあります。特にアルバレスの「祈り」は10歳の時に教会で歌ったことがある。思い出の曲です。」

では、ご自身のクリスマススの過ごし方は?

「年によってだいぶ違います。子どもたち

や孫たちと一緒にクリスマスが過ごせる年もあります。仕事で世界のどこかの街にいても、クリスマスは特別な年でもあります。ロンドンやウィーンにいたり、東京で過ごしたこともあります。毎晩はクリスマス・スイプとクリスマスは家で家族と過ごすようにしています。」

自制することが大事。
でもその見返りが素晴らしいので、苦にはなりません。

「特に歌手にとっては、自制することが大事だと思っています。良くない物を避けること、正しい飲食物を正しい時に食べること、特に公演の前にはおしやべりしすぎないこと。私たちが歌う音楽は、イマジン・オブ・サウンドです。この声帯は、あらゆるものに影響を受けています。空気の汚染、湿度、気圧、時差などいろいろあります。声帯は楽器のようにケースにしまうことはできません。常に身体がなかにあるもので、自制とプロフェッショナルな姿勢が重要なのです。でもその見返りが素晴らしいので、私は苦にはなりません。」

ファンはみなさんにメッセージを。?

「サン・ファン・デ・ボリス35周年という素晴らしいお祝いの場で、またたけ歌わせていただけることを大変うれしく、また光栄に思っています。」



José Carreras ホセ・カレラス

スペシャルインタビュー

テノール・リサイタル 2017 スピリット・オブ・クリスマス

三大テノールのひとり、 カレラスが聖なる曲を歌う

「大阪の街は大好き」と語る稀代の名テノールが、聖なる曲をテーマに歌う。

その美声とひたむきな歌唱の健在ぶりを知らしめてくれることだろう。

大阪のお客様はとても情熱的
よい思い出がたくさん残っています

この秋、ホセ・カレラスが10年ぶりにサン・ファン・デ・ボリスに帰ってくる。スペインのバルセロナに生まれ、世界最高のテノールのひとりとして名声を築き、キャリアの絶頂期に白血病の診断を受けるも、奇跡的な復活を果たしたカレラス。90年代にはドミンゴ、パヴァロと並び「三大テノール」のひとりとして一世を風靡した。近年はオペラの舞台からは事実上引退しているものの、コンサート活動は旺盛で、世界各地で美声を披露する。また音楽家としての活動に加えて、ライフワークともいえる「ホセ・カレラス国際白血病財団」の活動にも精力を傾けている。

まずはサン・ファン・デ・ボリスと大阪の印象についてうかがった。

「サン・ファン・デ・ボリスは昔の書きも素晴らしいですが、バウアー・マリーにとりて、そして観客の方にとりても、お互いを身近に感じられるホールだと思います。何回も公演をさせていたとき、よい思い出がたくさん残っています。大阪のお客様はとて

ホセ・カレラスの名をオペラ・ファンのみならず全世界に知らしめたのは、なんといっても「三大テノール」だろう。テノールのスーパースターが3人そろった伝説のユニットである。サッカリのワールド・カップ1990年イタリア大会の前夜祭を機に結成され、その後世界各地で公演が相次ぐこととなった。特に悪い出陣も公演は、やはり一番最初のローマのカラカラの公演が思い出深い。ルチアーノ・パヴァロ、ロッシーとブラシド、ドミンゴとの公演は、どれも特別でした。仕事上でもプライベートでも、私たちは特別な関係にあり、一緒に歌うことを楽しんでいました。3人での悪い出がたなくあります。」

その後、パヴァロ、ロッシーは2007年に鬼籍に入り、ドミンゴはパリ・トゥンに新境地を開いた。花嫁となった今もテノールとして活躍を続けるカレラス。その秘訣はどこにあるのだろうか。

発売中

(テノール)ホセ・カレラス
(ピアノ)ロレンツォ・バウアー

ストラデッラ:「ピエタ・シンヨレ」
マスカーニ:「アヴェ・マリア」
シューベルト:「子守唄」 アルバレス:「祈り」ほか

2017.11/21(火)7:00PM
S 24,000円 A 19,000円 B 14,000円
P 8,000円 学生席 5,000円 前売席 35,000円

【ご予約】サン・ファン・デ・ボリスセンター 06-6453-2333
【お問い合わせ】チケットが売切インフォメーション 0570-02-8111
【主催】JFMC サン・ファン・デ・ボリス

3大協奏曲

～次世代を担う未来の巨匠たち～
Three Greatest Concertos

機板通

前橋 汀子

ザ・コンチェルト

CONCLUSIONS

THE

チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

世界的に活躍する気鋭のピアニスト、
アリス=紗良・オットが
伝統あるチェコ・フィルハーモニー
管弦楽団と共演！

Czech
Philharmonic

Olga Stupac

そしてこの10月、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団の日本ツアーのソリストを務める。既に2013年にブラハマでチェコ・フィルとグリグのピアノ協奏曲を共

演しているアリスは、チェコ・フィルの音色には格別の美しさがあり、パツションが感じられ、彼らの奏でる音が大好きです。若い演奏家も多く、すぐに新しい友人のような関係で結ばれ、日本でまた共演できることを楽しみにしています」という。

そして今回のチェコ・フィルとの共演ではピアノ協奏曲第5番「皇帝」を披露する。ベートーヴェンは、アリスにとってとても大きな存在である。2011年にベートーヴェン・アルバムでピアノ・ソナタ第21番「ワルトシュタイン」などを録音。昨年5月の佐賀県とトーン・キョーストラ・管弦楽団の日本公演でピアノ協奏曲第1番を弾き、今年3月のワルバンスキ&NDREエル・フィルの日本公演では、ピアノ協奏曲第3番を取り上げた。ピアノ協奏曲第1番ではゆったりとした第2楽章での唯美的な演奏が印象に残った。

アリスは、ベートーヴェンの「皇帝」は久しぶりの演奏です。平和、調和、そして希望を象徴していて、芸術家としての誇りや強い使命感を感じます」と述べる。アリスの希望に満ちた華麗な「皇帝」が楽しみだ。そして抒情的な第2楽章での彼女の熱心にも注目したい。

アリスは、ザン・フオニー・ホールで演奏したときの印象を、聴いてくださった皆さん一人一人の存在を身近に感じることのできる、とても好きなコンサートホールです」と語る。そして大衆の音楽ファン

注目のピアニスト、アリス=紗良・オットがベートーヴェンの最も華麗な作品の一つであるピアノ協奏曲第5番「皇帝」で希望に満ちた演奏を繰り広げる。

【指揮】ベトル・アルトリヒテル
【管弦楽】チェコ・フィルハーモニー管弦楽団
【ピアノ】アリス=紗良・オット

ドヴォルザーク：序曲「謝肉祭」op.92
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番 変奏曲「皇帝」op.73
(ピアノ：アリス=紗良・オット)
ドヴォルザーク：交響曲 第9番 変奏曲「新世界より」op.95

2017.10/8(日)2:00PM

S 19,000円 A 16,000円 B 13,000円 プレミアム 25,000円
※0.10,000円のチケットは販売しませんでした。

【チケットお問い合わせ】ザン・フオニー・ホールセンター 06-6453-2333
【主催】ザン・フオニー・ホール

発売中

お知らせ

2017年8月31日、オセロ・ブイキハーモニー管弦楽団会員の皆様を有めずして、イモロー・ピエロ・マラー・マラー氏がブラハマで逝かれました。哀悼の意を表しますとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。この度、指揮者補佐にベトル・アルトリヒテルが決定し、演奏曲目は当楽団表のとおり行う予定です。詳細はザン・フオニー・ホールのWEBサイトにてご確認くださいようお願い申し上げます。

(文) 山田啓生

に、新しい音楽が生まれる瞬間を皆さんと共有したいと願っています」というメッセージをくれた。



高橋悠治 × 栃尾克樹

(ピアニスト・作曲家)

(東京佼成ウインドオーケストラ)

スペシャルインタビュー

東京佼成ウインドオーケストラ

第2回大阪定期演奏会 瞬間～鬼才と異才～

日本を代表する吹奏楽団の第2回大阪定期、注目の世界初演も!!

昨年からは始まった名門・東京佼成ウインドオーケストラの大阪定期今年11月の第2回定期では、作曲界の巨匠・高橋悠治の新作も世界初演される!

意外なことに、過去に演奏作品をほとんど書いたことがないという高橋。今回の委嘱は、東京佼成ウインドオーケストラ(以下TKWO)の熱心なオファ―で実現したという。その中心人物の一人が、TKWOのバリトンサクソフーン奏者、栃尾克樹。彼は高橋を数多野郎(メゾ・ソプラノ歌手)とのトリオ、最々たるまでも活動中で、2014年には録音を発表。今回のインタビューは、そんな高橋と栃尾の対談形式で、11月のTKWO第2回大阪定期演奏会で世界初演される大演劇(サックス)について語ってもらった。

高橋は、2015年に京都フィルハーモニー室内合奏団の定期公演で初演された高橋の(苦行(にがやみ)にもバリトンサクソフーンで出演している。

「それ以前は悠治さんの作品をソロや室内楽でしか収めたことがなかったの

で、オーケストラで演奏する喜びを初めて知って、それをTKWOの関係者に譲り渡し

したことで今回の委嘱に繋がったので感謝です」

高橋は「(悠治)の構想を聴くと、34人くらいの

中編成で、約10分

くらいの演奏時間

を予定しています。撮影は、期氏修治

に出てくる音源で、凡庸などの瞬間や薄

布などを通して照れる光と影という意味

木管、金管、打楽器などで構成される吹奏



楽は、リズムの割った行進曲風の音楽を演奏することが多い中、僕はそれと真逆の自由なリズムで、一人ひとりが異なるパートを担当する作品を書きたいと思いました。その意味で今回は指揮者も演奏者の一人ですから、厳格な指揮者にはむしろ動き回ってほしいです(笑)」。そんな言葉を受け、栃尾は「悠治」に次のような期待を寄せる。

「悠治さんの作品には、ひとつとして同じものがありません。例えば、前回の(苦行)と、2011年のセントラル覚醒交響楽団の定期公演で聴いた(大阪1964年)指揮者による音楽の作風の類似(演奏)はまったく違った。思えるまでもソロ、デュオ、トリオで作品が自在に変わってくる。ですから今回も悠治さんがどんな新しい世界を開かれるのかとても楽しみにしているところです」

すると高橋が「(テンポを一拍ごとに変えて、アンサンブルが揃わず、指揮者の指示に合わせて音が出ない作品にしたいですね」と返し、栃尾は苦笑しながら一言、それじゃ栃

森さんは大層ですね(笑)」。藤岡幸夫の白熱した指揮の下、

昨年11月のTKWO第1回大阪定期は大成功を収めたが、高橋は今回の指揮者、藤

森にも絶大な信頼を寄せる。

「高橋さんと僕は同世代で、TKWO以外にも東京交響楽団などで共演を多数重ねてきました。そんな彼は常に情熱的で、レパートリーが広く、発想も柔軟な方。今

回は(悠治)以外に、Cエスミス、クレス

トン、ショスタコーヴィチなどを演奏する

ので、悠治さんやザンシンプニーホール

の聴き手の皆さんも、高橋さんの音楽性や

素晴らしいとよくわかりたいと思います」

(取材文 高橋悠治)

発売中

【指揮】飯森範純 【サクソフーン】田中靖人

【吹奏楽】東京佼成ウインドオーケストラ

C.T.エスミス：バンドへの贈りもの

P.クレストン：アルトサクソフーン協奏曲 C.T.エスミス：華麗なる舞曲

高橋悠治：選影(TKWO委嘱作品 世界初演)

ショスタコーヴィチ：大規模一編：バレエ組曲「ホルト」pp.274

2017.11/24(金)7:00PM \$ 5,000円 A 4,000円 B 3,000円

Shinohara受取セット券 高橋悠治・田中靖人・飯森範純の3名による

【ご予約】ザンシンプニー・チケットセンター 06-6453-2333

【お問い合わせ】東京佼成ウインドオーケストラ事務局 03-5341-1155

【主催】佼成文化協会 東京佼成ウインドオーケストラ サクソフーン・ホルン

“優れた音楽をいつでも気軽に聴きにきてほしい”をテーマにザ・シンフォニーホールがプロデュースするコンサートをご紹介します。

注目度急上昇中の11人アンサンブル。丁寧な音づくりに深み増す

| The Symphony Hall Chamber Ensemble Vol.3

なる「プロヴァン
ム」には、今度も
ホーヴァルト、
グイウアルデイ
と名曲が揃う。
ステージを照
ねることに努
きあげられて
いく「アンサン
ブル」を堪能し
たい。

【演奏】The Symphony Hall Chamber Ensemble
【ゲスト】榎野倉雅秋（ヴァイオリン）、林 七菜（ヴァイオリン）
モーツァルト：ディヴェルティメントK.138
「ヴァルター」：2つのヴァイオリンのための協奏曲（初演
J.S.バッハ：2つのヴァイオリンのための協奏曲（二重奏）BWV1043
「スーパースター」：リウートのための古楽合奏曲とアリア（バ

2017. 11/9 (木) 7:00PM
至 3:00PM A 2:00PM

【ご予約】サレンブイニー チケットセンター 06-6453-2333
【お問い合わせ】大塚アートエージェンシー 06-6459-9612

関西を代表する4つのオーケストラから集結したザ・シンフォニーホール・チエンバーアンサンブルの第3回公演が決定した。

コンサートマスターをあえて置かず、メンバー全員が見え出し合って納得のいくまで音楽を作り上げ、ザ・シンフォニー・ホール・の最高の音響空間で観客を重ねることによって、極上の「モーツァー」を生み出していく音楽会期間（5月）に合わせた第3回公演では、より先達されたアンサンブルで聴衆を魅了し、次の期に夢をさらに高めた。

そんな注目すべき第3回公演が11月1日に開催される。ゲストには大阪フィルハーモニー交響楽団首席客コンサートマスターとして活躍しながら、11月に「ザ・シンフォニー・ホール・」公演を創った田野倉雅博のコンサートマスターを務める。

4大オーケストラからの強力なメンバーが一軍に集結することとなり、まさに関西オーケストラのフアンにとっては見逃せない。

（左）ザ・シンフォニー・ホール・チエンバーアンサンブルのメンバー（右）大阪フィルハーモニー交響楽団のメンバー



和太鼓とのコラボ再び！ 新新アレンジにも注目を

|The Symphony Hall Big Band Vol.8



【演奏】The Symphony Hall Big Band
【スペシャルゲスト】木村優一（和太鼓）
製作者の行進 La Fiesta ルパン三世×メインテーマ
空想の冒険 砂塵の丘 1899

2017. 11/14 (火) 7:00PM
S 5,000円 A 4,000円 B 3,000円

〓 予約(サンフォニー・チケットセンター) 06-6452-2333
 〓 お問い合わせ(大塚アートエージェンシー) 03-6489-9612
 〓 〓 サンフォニー・ホール

ザンセンは「二ノホール」が全国で活躍するトッパ・ブレイヤードを集めて結成した関西系のジャズビッグバンド。ザンセン・二ノホールは「ググバンド」これまで、幅広いジャンルからアーティストとコラボレーションを繰り返し、毎回、心躍らす斬新なアレンジ、パフォーマンスで観客を魅了。濃厚な和音やバリエーション豊かな個性即興演奏はバネとなく、ダイナミックなバンドアンサンブルが反響を呼び、聴衆にファンを獲得してきた。

今年は2カ月に1度という超密のペースでコンサートを開催している彼ら。9月14日にはクロマチ・アコースティック・セッション祭者のかとうがなをゲストに迎えて、リリィアが行われるが、このほど、早くも11月公演の情報が解禁された。11月14日に開催される公演には、ゲストにV.O.O.の公闘にも登場した和太鼓奏者の木村優一が登場する。ジャズ・クラシック・フュージョン音楽など、他ジャンルとのコラボレーションを軸に活動する木村優一。コラボレーション楽曲には「ルパン三世 メインテーマ」や木村優一がオリジナルスコアリングとしてCDリリースした「空翔る翼」など、この日限りのスペシャルな空間を是非とも味わっていただきたい。



早くも第2回公演開催！5人が織りなす変幻自在のアンサンブル

|The Symphony Hall String Quintet Vol.2

〔ヴァイオリン〕 田野倉雅秋
岡本伸一郎
〔ヴィオラ〕 木下雄介
〔チェロ〕 北口大輔
〔コントラバス〕 村田和幸

キングダム・オブ・ヘブン 伝説のための交響曲 第1巻 ハ長調
マルチスロー 3つのマドリガル H.313
M.ハイティン・ディヴェルティメント ハ長調 D.936
アリソン・シンブル・シンフォニー 1955

2017. **9/28** (木) 7:00PM
全席指定 2,000円

(制作) サンフランシスコ・デパートメント 06-5453-2333
 (印刷・装幀) 大塚アートデザイン 06-5459-9012
 (主筆) サンフランシスコ・デパートメント

「音楽をもつと最近に、気晴らしに感じて欲しい」というザ・シンフォニーホールに開演の主眼オーケストラを中心に活躍する演奏家たちの戦いのもと結成された第5重奏団「ザ・シンフォニーホールストリング・クインテット」。4月のデビュー公演を大成功させたばかりの彼らが早くも第2回公演を開催する。

佐藤五重奏という、かなりチャットにウイオラもしくはサロモウ・本増やした編成が多いが、コントラバスを加えることでオーケストラのサウンドを擬ししながら、室内楽ならではの一人一人の音の個性が際立ち、曲本来の編成を模索出すような驚きを醸し出めるのが彼らの慣り出すアンサンブル。五重奏はもちろん、デモエトリオでの演奏もあり、5人の個性がより際立つ。

今回のテーマは、1400年間に渡るヨーロッパの歴史、古典派ミヒャエル・ハイドンの「ゴイグエル・ティメント・ハ長調」から、中世ロネッサンス発祥の音楽様式を取入れた20世紀の作品マルティヌーの「3つのマドリガル」まで取り上げる。演奏を聴くかのような緩急な時間の中に、ヨーロッパの歴史やその時代の過去、そして人の思慕の心を聴く。そんな音楽の偉業をぜひお楽しみ。



カルテットの魅力を届ける。ザ・シンフォニーホールでの注目のデビュー公演

「The Symphony Hall String Quartet - 20世紀のアメリカ」

飛虎中



ザ・シンフォニーホールが手がける「アーティストインレジデンス」の第4弾。森下幸路・大阪交響楽団、菅原リロ・コンサートマスター・松浦奈々（日本センチュリー交響楽団、コンサートマスター）、北口大輔（日本センチュリー交響楽団、首席奏者）、飯田隆（日本センチュリー交響楽団、奏者）からなる4人が、ザ・シンフォニーホール・ストリングカルテットとしてのデビュー公演を行う。9月1日の第一回公演に胸けて、松浦と飯田にインタビューを行った。

森下 この4人は、以前よりカルテットとして活動を行っていてこれで行なっていますね。

松浦 一昨年の秋に、森下さんをお誘いし、活動を始めました。森下さんの言は

「多々、いいバブオー」
 養育士との息が合い
 ママとしていて、それ
 持つていくというこ
 商業音楽ではなく、た
 まで音楽を作る、創作
 芸術を展開してはし
 るという思いから、其
 に活動していくこと
 を決めた。最初は、
 お客様が少なくて、も
 かまわれない。サ、シ
 フは、二、三、年の間、



● 弘明

コングラチュレーションをありがとうございました、お話をきかせてもらいました。



だつたのですが、お客様からのリ、続けていた方がいいねと。そんななか、身多々いした際に、ギンシフオットクラブを創までいただけたうお話をさせてもらいました。



織姫とや雄雉な味があつて二糖に固着したいという気持ちになります。そして、斗人それぞれが出す音が自然と寄り添つていく感音がとてつもなくよくて、方向性がすぐにワッホして、とにかく演奏して聞いてほしいんですね。

松浦 ザ・シンフォニーホールでこの4人
での活動ができることはとても幸せな
こと、ホールに育ってもらいながら、音
樂を作つていきたいです。

飯田 グロダウムは、僕らのやりたいもの
だけでなく、お客様が聴きやすい音楽と
僕らのオレインジを含めた曲を奏ります。
また、僕らが奏でる音楽に加えて、音楽
からインスパイアされた絵画を画家の
大塚弘晃さんに描いてもらうという、
パフォーミングにも注目してほしいです。
「あめ」の曲だからこういう絵になる
んだ、ということとは全然違う、お客様
も予想だにしない斬新な絵が完成する
と思いますよ。

で訓をなすにふさわしい音楽を作り上げ、時間全かけて理解者、ファンを増やしていければいいですね。息長く続けたいだけでなく、私たちがしては、気持ちよく活動を続けられるための環境を整えていくことも役目だと思っています。

【ヴァイオリン】森下幸路、松浦奈々
【ヴィオラ】飯田 隆 【チェロ】北口大輔

スコット・ジョーンズ：ラグタイム
マール・ムーニー：リバー
カーティーン：メロデー
バーバー：弦楽四重奏曲 第1番 (作曲 1911 年)
第2楽章「アダージョ」
ワグネル：弦楽四重奏曲 第12番
～作曲「アメリカ」 1906 年

2017.9/1(金)7:00PM 全席指定 2,000円

(ご予約) サンフェニー チャットセンター 06-6453-2333
(お問い合わせ) 大興アートエージェンシー 06-6459-9612
(主催) サンフェニーホール

「多」ここでは、静かな音までが聞こえるにまで冬らしいに響くんですよ。水の結晶がキラキラと光っているような、ホールに近いにはタワーマンションが建設されてきて、住む人が増えています。そんな人たちの心を休める場所になればいいなと、夕方少しは散歩にいくような感覚で、こんなに素敵な時間があるんだと。このストリングスカルチャとゼンゾフオニールで、こんな空間を作りたいですね。



ライト・シンフォニック コンサート ~大人の贅沢~

LIGHT SYMPHONIC CONCERT

ザ・シンフォニーホールと大阪交響楽団が贈る
心地よく響くアコースティックな音色に秘められた大人の味わい



今年のバレンタイン・デーに行われ、好評を博した「ライト・シンフォニックコンサート」大人の贅沢」ギタリスト、村治奏一を迎えて行われる第2回公演を前に、その魅力について考える。

大人の音楽とは何だろうか。まだ10代の頃、激しく鳴る同時代のロックやポップスに魅かれていた時代、ラジオから流れて来る優しく耳を撫でるような音楽に新鮮な驚きを感じたことがある。それらはイー・ジー・リスニングと呼ばれたり、またライト・クラシックと呼ばれたりしていた。自分もいつかこんな音楽がわかるようになるのだろうか。当時はそんな風に思った。こうした音楽の心地よさに気づいたのは、もう大人とされる年齢を越えるかに過ぎたあとのことだ。

今年2月14日、ザ・シンフォニーホールが大阪交響楽団と一緒に大人のためのコンサートシリーズを立ち上げる、というので観客に出かけた。ライト・シンフォニックコンサートの大人の贅沢」は、プログラムの多くは映画音楽やジャズから選ばれている。ホールにはいつものクラシックコンサートとは少し違った華やいた雰囲気。心なしか女性の姿が目立つ。大阪交響楽団の演奏する「巴里のアメリカーナ」でコンサートは始まった。弦楽器を中心とした滑らかな響きに日頃の疲れがほぐれていくような感じがする。ナビゲーターの言葉はむしろ控えめで、安心

して音楽に集中することができた。ホールを一時新鮮な空気で満たしたのはジャズピアニストの細川千尋。ソリストとして大半の曲を大阪交響楽団と共演した彼女の表現力は、観客の心に深く刻まれたに違いない。『What a Wonderful World』や『ひまわり』のテーマなどは、しつとりと歌心が告りたつように、そして、スバルカス室のテーマなどでは生命力に満ちたインプロヴィゼーションをまじえて、大きく演奏を盛り上げた。

観客が受けた音楽はジャズであり、映画音楽であり、ひまわりとするとイー・ジー・リスニングと呼ばれるものであったかも知れない。だがきくとジャンルは関係ないのだから。大人になった私たちがもう音楽そのものの魅力を十分に知っているからだ。さまざまな思い出と経験を、心地よく響くアコースティックな音色の中に、優しくやさしく、そして喜びを感じることが出来る。ライト・シンフォニックコンサート大人の贅沢」には、加えて上質なエンターテインメント性がある。誰と見ても楽しめる。持ち手を共有できる時間がある。コンサートの魅力はゲストの個性によっても大きく変わることだろう。8月4日(金)に行われる第2回には、東京国際ギター！



▲開催第2回公演、ソリストはクラシックギタリストの村治奏一

コンクールは、歌々のコンクールで優勝を果たして来たクラシックギタリスト、村治奏一を迎える。映画「禁じられた遊び」からの「愛のロマンス」や「アルハンブラの思い出」といった名曲のソロに加え、マイヤーズの「カヴァティナ」、フアリヤの「かなき人生」よりスペイン舞曲「第一番」などの作品では、新たな編曲でオーケストラと共演するという。真夏にふさわしい、南ヨーロッパの陽射しをイメージしたプログラム。村治奏一の情熱を添えた端正なギターの音色が大阪交響楽団の響きとどう響き合うのか、楽しみに待つことにしたい。

(文) 黒坂聖也/音楽ライター

発売中

【指揮】太田 誠 【ギター】村治奏一
【オーケストラ】大阪交響楽団 【ナビゲーター】早田和幸
【ギター】映画「禁じられた遊び」より「愛のロマンス」★
【レガ】「アルハンブラの思い出」★
【ピアノ】「スペイン舞曲」第5曲「アストゥリアス」★
【ギター】交響曲第5番より「アダージョ」◆
【マイヤーズ】映画「カヴァティナ」より「カヴァティナ」★
【フアリヤ】映画「かなき人生」よりスペイン舞曲 第1番
【ロッシニ】狂気のためのソナタ 第1番ト長調◆
【マスカーニ】映画「カヴァティナ」より「カヴァティナ」★
【フアリヤ】「リュート協奏曲」ニ長調 RV.93
【モンディ】「チャルダッシュ」◆

★ギターソロ ◆オーケストラソロ

2017.8/4(金) 7:00PM \$ 5,000円 A 4,000円

【チケット問合せ】ザ・シンフォニー・チケットセンター 06-6453-2933
【主催】ザ・シンフォニーホール／一般社団法人 大阪交響楽団

ファミリーで楽しむ夏のコンサート

ザ・シンフォニーホールがおすすめする「家族との夏の思い出」。

0歳児から大人まで、音楽の魅力を家族みんなで楽しむことができる。3つのコンサートをご紹介します。

【指揮・本編】藤岡孝夫 【ソプラノ】西方典子
【独唱】関西フィルハーモニー管弦楽団
メンデルスゾーン 前奏曲「真夏の夜の夢」より「結婚行進曲」
チャイコフスキー バレエ「白鳥の湖」より「ワルツ」
モーツァルト 喜劇「魔笛」より「夜の女王のアリア」
ショパース 喜劇「いよいやなからの王様」より「ポーランドの祭り」
シベリウス アンダンテ・フェスティヴォ
エルガー 行進曲「威風堂々」第1番 第4番

2017.8/5(土) 2:00PM

Aおとな 4,000円 Bおとな 3,000円
C子ども・中学生まで 一律 1,500円
マエストロ・ビューシート 3,500円
※本公演は全席指定の座席です。
※小児は必ず保護者が同席し、たふしがない場合は、お父さん・お母さん・お兄さん・お姉さんで観覧してください。

【ご予約・お問い合わせ】チケットセンター 06-6453-2333
【お問い合わせ】関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6577-1381
【主催】演出・演出人 関西フィルハーモニー管弦楽団
ザ・シンフォニーホール

【オルガン】石丸由佳

「インディ・ジョーンズ」より「レイダース・マーチ」
「ハリ・ポッター」より「メドレー」★
「プロローグ・ハリ」の不思議な世界・ヘドウィックのテーマ
「E.T.」より「フライング・テーマ」「ジョーズ」より「メイン・タイトル」
「ジュラシック・パーク」より「テーマ」★
「スター・ウォーズ」より「メドレー」★
「インディ・ジョーンズ」の不思議な世界・ヘドウィックのテーマ
「バック・トゥ・ザ・フューチャー」より「テーマ」★
「パイレーツ・オブ・カリビアン」より「後こそが海賊」★

2017.8/19(土) 5:00PM

※全席指定。約90分間のコンサートです。
※文・06公演（1部）のチケットは完売しました。
※4歳以上のお子様からご入場可能です。
全席指定 2,500円

【ご予約・お問い合わせ】
チケットセンター 06-6453-2333
【主催】ザ・シンフォニーホール

【指揮】横山 豊 【オルガン】原田仁子 【吹奏楽】大阪交響楽団
【独唱】新井恵平 【独唱】山本かすみ
「ウィリアムズ」独唱「スター・ウォーズ」より「メイン・テーマ」★
なかむらたかし「でかけよう、オーケストラと一緒にピクニックへ」
「童謡集」を使った楽器紹介メドレー

ホルスト（原田仁子編）「シベリウス」組曲「恋慕」より）◆
おんがくリズムおそひコーナー
マスカーニ 喜劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」「間奏曲」◆◆
K.パダルト 交響組曲「パイレーツ・オブ・カリビアン」
楽器紹介コーナー（ロビーにて 開演・開演20分前まで）

2017.8/28(月) 午後11:00AM 午後2:00PM

※おとな 2,500円 Bおとな 1,500円
Aおとな 2,000円 B子ども 1,000円
C小学生 500円
※おとな・0歳児から小学生まで、0歳児から小学生まで
※乳幼児のお子様（お座りの上でも）必ず保護者を同席してください。

【ご予約・お問い合わせ】
チケットセンター 06-6453-2333
【主催】一般社団法人 大阪交響楽団 / ザ・シンフォニーホール

関西フィル 第3回親子定期演奏会

〜クラシック音楽の感動に出会う 家族の特別な夏休み〜
Open★the★Orchestra!

発売中



お子さん、お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん、お友達、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなが楽しめるコンサートです。

親子で楽しむ夏の思い出のコンサート。関西フィル 第3回親子定期演奏会。子どもたちに生のおーケストラを体験してほしい。という思いのもと、今年も「結婚行進曲」「威風堂々」など、親しみのある音楽を力点のオーケストラサウンドでお届けします。また、喜劇「いよいよやなからの王様」より「ポーランドの祭り」など、本公演のテーマとなっている世界のお祭りから、演奏だけでなく、指揮者藤岡孝夫による、生のおーケストラの魅力を伝えることができます。4歳から楽しめるコンサート。

クラシック音楽の感動を、家族で楽しむことができます。3つのコンサートをご紹介します。

プロジェクトマッピング×パイプオルガン 超絶のスター・ウォーズII

追加公演!!

発売中



昨年、映画ファン、パイプオルガンファンを魅了した「ザ・シンフォニー・ホール主催のイベント、超絶のスター・ウォーズII」。昨年、映画ファン、パイプオルガンファンを魅了した「ザ・シンフォニー・ホール主催のイベント、超絶のスター・ウォーズII」。

プロジェクトマッピング×パイプオルガン。超絶のスター・ウォーズII。昨年、映画ファン、パイプオルガンファンを魅了した「ザ・シンフォニー・ホール主催のイベント、超絶のスター・ウォーズII」。

クラシック音楽の感動を、家族で楽しむことができます。3つのコンサートをご紹介します。

大阪交響楽団 0歳児からの光と映像で楽しむオーケストラ Vol.9

発売中



0歳児からの光と映像で楽しむオーケストラ Vol.9。大阪交響楽団とザ・シンフォニーホールが主催する大人気シリーズコンサート。0歳児からの光と映像で楽しむオーケストラ。8月28日の第9回公演は、パイプオルガンの響き、音色を聴いてもらいたいことをテーマに、プロジェクトマッピング、カヴァレリア・ルスティカーナ、間奏曲「ジュビタリ（組曲「恋慕」より）」が満堂されます。

大阪交響楽団とザ・シンフォニーホールが主催する大人気シリーズコンサート。0歳児からの光と映像で楽しむオーケストラ。8月28日の第9回公演は、パイプオルガンの響き、音色を聴いてもらいたいことをテーマに、プロジェクトマッピング、カヴァレリア・ルスティカーナ、間奏曲「ジュビタリ（組曲「恋慕」より）」が満堂されます。

クラシック音楽の感動を、家族で楽しむことができます。3つのコンサートをご紹介します。



ジャンルを越えた名曲を味わう! スペシャルプログラムに期待!

発売中

大和証券グループ Presents 西本智実指揮 イルミナートフィルハーモニーオーケストラ with さだまさし

国際的指揮者・西本智実が率いるイルミナートフィルハーモニーオーケストラ(2012年結成)とイルミナート合唱団と、歌謡界・巨匠さだまさし。関西における今回の初共演の演目と聴きどころを西本に訊いた。

「さださんは、子供の頃に『関白宣言』を初めて聴いた時のように、歌われるスタイルと衝撃的な歌詞(笑)を今でも忘れられません。今回はさださんの作品をオーケストラバージョンでお楽しみください。また、ロシアの歌謡曲(『鐘』)を取ってくださることに、これは私から熱烈にお願ひしました。死んだ兵士はそこにはいない、魂になって私たちに語りかけているという大膽のロシア語詞から新たに日本語訳を私が書きました」

コンサート一曲目はボロディン作曲オペラ『イーゴリ公』より『ダッタン人の踊り』。後半メインプログラムは『舞踏の聖化』と題えられるベートーヴェンの交響曲第7番だ。

「『ダッタン人』は原語(ロシア語)合唱とともに聴けます。本作はイルミナートの結成時から何度も演奏して頂いてきた演目のひとつ。原曲のオペラ『イーゴリ公』のクライマックスを成す曲で、異国情緒と迫力に溢れた

作品の真髄をお届けできればと思っています」

そしてラストを飾る『ベト』にも、西本は以下のような解釈と想い入れを語る。

「この交響曲は、モーツァルトがそうだったように、イストラム芸術の特色を音楽に織り交ぜ表現しています。東西の文化がお互いに影響を受け合うことで昇華してきた西洋クラシック音楽の魅力と現在に想いを馳せていただければ幸いです」

(取材・文 世田節太郎)



【指揮】西本智実 【ゲスト】さだまさし
【管弦楽】イルミナートフィルハーモニーオーケストラ
【合唱】イルミナート合唱団

ボロディン「オペラ『イーゴリ公』より『ダッタン人の踊り』」
さだまさし名曲集
ベートーヴェン「交響曲 第7番 op.92」

2017.8/30(水)6:30PM 全10,000円/4,800円

【ご予約】ザシンフォニーチケットセンター 06-6453-2333
【お問い合わせ】03-8583-3221(平日10:00-18:00)
【主催】オアシスTEN



62年の活動に耳——大阪でのラストコンサート。

発売中

デューク エイセス ~62年目のコンサート~

年内で活動を終えるデュークエイセス。ザ・シンフォニーホールでのラストコンサートについて4人にインタビューすることができた。

62年にわたる活動に終止符を打つ。様々な思い出を刻んだザ・シンフォニーホールでの最後のコンサートが7月22日に開催される。

「男声カルテットの魅力を独特のサウンドとリズム面でアピールしてきましたが、声が出ていくうちに声の調を下ろそうと思つたのです」(谷津夫)

「戦後、デューク・ジャクソンなどの男声コーラスが出てきた中で、僕たちはジャズをやろうと米軍キャンプを回り、アメリカのグループのレコードを聴いていくまで聴いて、自分たちの音楽をつくってききました」(横野義孝)

「僕は9年前からメンバーに加えていただいたのですが、初めて一緒に歌って、僕のソロに3人の先輩たちがハーモニーをつけてくださったとき、涙が出るほど感動したのを今でも覚えています」(大谷真司)

「僕は3年前からですが、とにかく必死で膨大な曲目を覚え、追いかけて来ましたが、ひとりでパート、4人でつくるハーモニーの奥深さや楽しさに目覚めたところなので、ちよつと残念です」(若田元)

今回のプログラム、前半はデュークエイセスの原点ともいえるジャズ・ナンバーをたっぷり聴かせてくれる。

そして、後半の目玉は『夢であいましょうメドレー』

「僕たちのもうひとつのルーツは、テレビ時代になってからの『夢であいましょう』。黒柳徹子さん、藤美貴さん、三木のり平さんなどが出演し、毎月(今月の歌)というコーナーで永六輔さんと中村八太さんのコンビが、(上)を向いて(下)を(遠くへ)行き(たい)『おさななじみ』(へんにちは赤ちゃん)など、素敵な楽曲を生み出していきました。今回は、番組が終わるときに中村八太さんが僕たちのために書いてくださったメドレーを披露しようと思ひます」(谷津)

「僕はこんなに素晴らしい曲があったなんて」と感動しています」(若田)

「いろいろな掛け合ひがあります」(大谷)

「でもネタは秘蔵だ(笑)」(横野)

いつも新鮮なサウンドを求め続け、惜しまれつつ去るという美字を興くデュークエイセスの大旗、ラストコンサートは必聴だ。

(取材・文 森岡崇)

【コーラス】デューク エイセス
【スペシャルゲストシンガー】真奈尚子
ドライボーン／Caravan
おさななじみ
生きるものの歌
夢であいましょうメドレーほか

2017.7/22(土)2:00PM
全席指定 0,000円

【ご予約】ザシンフォニーチケットセンター 06-6453-2333
【お問い合わせ】エス・シー・エス 06-6204-0412
【主催】エス・シー・エス/ザシンフォニーホール

先行予約
7/20 (土)
一般発売
7/29 (土)

美しい旋律、全員のアンサンブルを心ゆくまで――

古澤巖×ベルリン・フィルハーモニー ヴィルトゥオーゾのクリスマス



ザ・シンフォニーホールで過去3年連続、大盛況を博したこのタッグによるコンサートが今年も開催決定！今回のプログラムにはクリスマスシーズンにぴったりのラブソング&名曲の数々が贅沢に用意されている。古澤巖と弦楽五重奏団によるジブシーからポップス、コンチェルトまで。聴くものの心をじっくりと満たす音楽とパフォーマンスに魅了される素敵な夜。大切な人と幸せなひと時を過ごすことができるだろう。

【ヴァイオリン】古澤 巖
【弦楽】ベルリン・フィルハーモニー
ヴィルトゥオーゾ

マリノのコンチェルト
ESPERANZA〜希望〜
Mr.Lovely/ワルツ・ロマンティック・ワルツ

2017.12/11 (月) 7:00PM

3,500円 A 5,000円 B 9,000円
7/20 (土) 先行
7/29 (土) 一般

【予約】ザ・シンフォニーホールセンター 06-6452-2333
【お問い合わせ】
ザ・シンフォニーホール (06) 6410-0517
【会場】ザ・シンフォニーホール

先行予約
7/20 (土)
一般発売
7/23 (火)

早くも2回リサイタルが決定！今度はオール・ラフマニノフに挑む！

長富彩 ピアノ・リサイタル vol.2 渾身!!ラフマニノフ



6月にザ・シンフォニーホールにて初のピアノ・リサイタルを大成功に収めた長富 彩の次回公演が早くも決定。ベートーヴェンとリストの作品を取り上げた第1回公演のアンコールでは、1月の本公演への期待を煽るかのようラフマニノフを演奏し喝采を博した。聴衆の心をグッと惹きつける確かな技巧と表現力を兼ねそなえている彼女の、“渾身!!”のオール・ラフマニノフ プログラムに注目してほしい。

【ピアノ】長富 彩

ショパンの夜曲集 (第1巻) op.9-1
ショパンの夜曲集 (第2巻) op.9-2
ショパンの夜曲集 (第3巻) op.9-3
ショパンの夜曲集 (第4巻) op.9-4
ショパンの夜曲集 (第5巻) op.9-5
ショパンの夜曲集 (第6巻) op.9-6
ショパンの夜曲集 (第7巻) op.9-7
ショパンの夜曲集 (第8巻) op.9-8
ショパンの夜曲集 (第9巻) op.9-9
ショパンの夜曲集 (第10巻) op.9-10
ショパンの夜曲集 (第11巻) op.9-11
ショパンの夜曲集 (第12巻) op.9-12
ショパンの夜曲集 (第13巻) op.9-13
ショパンの夜曲集 (第14巻) op.9-14
ショパンの夜曲集 (第15巻) op.9-15
ショパンの夜曲集 (第16巻) op.9-16
ショパンの夜曲集 (第17巻) op.9-17
ショパンの夜曲集 (第18巻) op.9-18
ショパンの夜曲集 (第19巻) op.9-19
ショパンの夜曲集 (第20巻) op.9-20
ショパンの夜曲集 (第21巻) op.9-21
ショパンの夜曲集 (第22巻) op.9-22
ショパンの夜曲集 (第23巻) op.9-23
ショパンの夜曲集 (第24巻) op.9-24
ショパンの夜曲集 (第25巻) op.9-25
ショパンの夜曲集 (第26巻) op.9-26
ショパンの夜曲集 (第27巻) op.9-27
ショパンの夜曲集 (第28巻) op.9-28
ショパンの夜曲集 (第29巻) op.9-29
ショパンの夜曲集 (第30巻) op.9-30
ショパンの夜曲集 (第31巻) op.9-31
ショパンの夜曲集 (第32巻) op.9-32
ショパンの夜曲集 (第33巻) op.9-33
ショパンの夜曲集 (第34巻) op.9-34
ショパンの夜曲集 (第35巻) op.9-35
ショパンの夜曲集 (第36巻) op.9-36
ショパンの夜曲集 (第37巻) op.9-37
ショパンの夜曲集 (第38巻) op.9-38
ショパンの夜曲集 (第39巻) op.9-39
ショパンの夜曲集 (第40巻) op.9-40
ショパンの夜曲集 (第41巻) op.9-41
ショパンの夜曲集 (第42巻) op.9-42
ショパンの夜曲集 (第43巻) op.9-43
ショパンの夜曲集 (第44巻) op.9-44
ショパンの夜曲集 (第45巻) op.9-45
ショパンの夜曲集 (第46巻) op.9-46
ショパンの夜曲集 (第47巻) op.9-47
ショパンの夜曲集 (第48巻) op.9-48
ショパンの夜曲集 (第49巻) op.9-49
ショパンの夜曲集 (第50巻) op.9-50
ショパンの夜曲集 (第51巻) op.9-51
ショパンの夜曲集 (第52巻) op.9-52
ショパンの夜曲集 (第53巻) op.9-53
ショパンの夜曲集 (第54巻) op.9-54
ショパンの夜曲集 (第55巻) op.9-55
ショパンの夜曲集 (第56巻) op.9-56
ショパンの夜曲集 (第57巻) op.9-57
ショパンの夜曲集 (第58巻) op.9-58
ショパンの夜曲集 (第59巻) op.9-59
ショパンの夜曲集 (第60巻) op.9-60
ショパンの夜曲集 (第61巻) op.9-61
ショパンの夜曲集 (第62巻) op.9-62
ショパンの夜曲集 (第63巻) op.9-63
ショパンの夜曲集 (第64巻) op.9-64
ショパンの夜曲集 (第65巻) op.9-65
ショパンの夜曲集 (第66巻) op.9-66
ショパンの夜曲集 (第67巻) op.9-67
ショパンの夜曲集 (第68巻) op.9-68
ショパンの夜曲集 (第69巻) op.9-69
ショパンの夜曲集 (第70巻) op.9-70
ショパンの夜曲集 (第71巻) op.9-71
ショパンの夜曲集 (第72巻) op.9-72
ショパンの夜曲集 (第73巻) op.9-73
ショパンの夜曲集 (第74巻) op.9-74
ショパンの夜曲集 (第75巻) op.9-75
ショパンの夜曲集 (第76巻) op.9-76
ショパンの夜曲集 (第77巻) op.9-77
ショパンの夜曲集 (第78巻) op.9-78
ショパンの夜曲集 (第79巻) op.9-79
ショパンの夜曲集 (第80巻) op.9-80
ショパンの夜曲集 (第81巻) op.9-81
ショパンの夜曲集 (第82巻) op.9-82
ショパンの夜曲集 (第83巻) op.9-83
ショパンの夜曲集 (第84巻) op.9-84
ショパンの夜曲集 (第85巻) op.9-85
ショパンの夜曲集 (第86巻) op.9-86
ショパンの夜曲集 (第87巻) op.9-87
ショパンの夜曲集 (第88巻) op.9-88
ショパンの夜曲集 (第89巻) op.9-89
ショパンの夜曲集 (第90巻) op.9-90
ショパンの夜曲集 (第91巻) op.9-91
ショパンの夜曲集 (第92巻) op.9-92
ショパンの夜曲集 (第93巻) op.9-93
ショパンの夜曲集 (第94巻) op.9-94
ショパンの夜曲集 (第95巻) op.9-95
ショパンの夜曲集 (第96巻) op.9-96
ショパンの夜曲集 (第97巻) op.9-97
ショパンの夜曲集 (第98巻) op.9-98
ショパンの夜曲集 (第99巻) op.9-99
ショパンの夜曲集 (第100巻) op.9-100

ショパンの夜曲集 (第1巻) op.9-1
ショパンの夜曲集 (第2巻) op.9-2
ショパンの夜曲集 (第3巻) op.9-3
ショパンの夜曲集 (第4巻) op.9-4
ショパンの夜曲集 (第5巻) op.9-5
ショパンの夜曲集 (第6巻) op.9-6
ショパンの夜曲集 (第7巻) op.9-7
ショパンの夜曲集 (第8巻) op.9-8
ショパンの夜曲集 (第9巻) op.9-9
ショパンの夜曲集 (第10巻) op.9-10
ショパンの夜曲集 (第11巻) op.9-11
ショパンの夜曲集 (第12巻) op.9-12
ショパンの夜曲集 (第13巻) op.9-13
ショパンの夜曲集 (第14巻) op.9-14
ショパンの夜曲集 (第15巻) op.9-15
ショパンの夜曲集 (第16巻) op.9-16
ショパンの夜曲集 (第17巻) op.9-17
ショパンの夜曲集 (第18巻) op.9-18
ショパンの夜曲集 (第19巻) op.9-19
ショパンの夜曲集 (第20巻) op.9-20
ショパンの夜曲集 (第21巻) op.9-21
ショパンの夜曲集 (第22巻) op.9-22
ショパンの夜曲集 (第23巻) op.9-23
ショパンの夜曲集 (第24巻) op.9-24
ショパンの夜曲集 (第25巻) op.9-25
ショパンの夜曲集 (第26巻) op.9-26
ショパンの夜曲集 (第27巻) op.9-27
ショパンの夜曲集 (第28巻) op.9-28
ショパンの夜曲集 (第29巻) op.9-29
ショパンの夜曲集 (第30巻) op.9-30
ショパンの夜曲集 (第31巻) op.9-31
ショパンの夜曲集 (第32巻) op.9-32
ショパンの夜曲集 (第33巻) op.9-33
ショパンの夜曲集 (第34巻) op.9-34
ショパンの夜曲集 (第35巻) op.9-35
ショパンの夜曲集 (第36巻) op.9-36
ショパンの夜曲集 (第37巻) op.9-37
ショパンの夜曲集 (第38巻) op.9-38
ショパンの夜曲集 (第39巻) op.9-39
ショパンの夜曲集 (第40巻) op.9-40
ショパンの夜曲集 (第41巻) op.9-41
ショパンの夜曲集 (第42巻) op.9-42
ショパンの夜曲集 (第43巻) op.9-43
ショパンの夜曲集 (第44巻) op.9-44
ショパンの夜曲集 (第45巻) op.9-45
ショパンの夜曲集 (第46巻) op.9-46
ショパンの夜曲集 (第47巻) op.9-47
ショパンの夜曲集 (第48巻) op.9-48
ショパンの夜曲集 (第49巻) op.9-49
ショパンの夜曲集 (第50巻) op.9-50
ショパンの夜曲集 (第51巻) op.9-51
ショパンの夜曲集 (第52巻) op.9-52
ショパンの夜曲集 (第53巻) op.9-53
ショパンの夜曲集 (第54巻) op.9-54
ショパンの夜曲集 (第55巻) op.9-55
ショパンの夜曲集 (第56巻) op.9-56
ショパンの夜曲集 (第57巻) op.9-57
ショパンの夜曲集 (第58巻) op.9-58
ショパンの夜曲集 (第59巻) op.9-59
ショパンの夜曲集 (第60巻) op.9-60
ショパンの夜曲集 (第61巻) op.9-61
ショパンの夜曲集 (第62巻) op.9-62
ショパンの夜曲集 (第63巻) op.9-63
ショパンの夜曲集 (第64巻) op.9-64
ショパンの夜曲集 (第65巻) op.9-65
ショパンの夜曲集 (第66巻) op.9-66
ショパンの夜曲集 (第67巻) op.9-67
ショパンの夜曲集 (第68巻) op.9-68
ショパンの夜曲集 (第69巻) op.9-69
ショパンの夜曲集 (第70巻) op.9-70
ショパンの夜曲集 (第71巻) op.9-71
ショパンの夜曲集 (第72巻) op.9-72
ショパンの夜曲集 (第73巻) op.9-73
ショパンの夜曲集 (第74巻) op.9-74
ショパンの夜曲集 (第75巻) op.9-75
ショパンの夜曲集 (第76巻) op.9-76
ショパンの夜曲集 (第77巻) op.9-77
ショパンの夜曲集 (第78巻) op.9-78
ショパンの夜曲集 (第79巻) op.9-79
ショパンの夜曲集 (第80巻) op.9-80
ショパンの夜曲集 (第81巻) op.9-81
ショパンの夜曲集 (第82巻) op.9-82
ショパンの夜曲集 (第83巻) op.9-83
ショパンの夜曲集 (第84巻) op.9-84
ショパンの夜曲集 (第85巻) op.9-85
ショパンの夜曲集 (第86巻) op.9-86
ショパンの夜曲集 (第87巻) op.9-87
ショパンの夜曲集 (第88巻) op.9-88
ショパンの夜曲集 (第89巻) op.9-89
ショパンの夜曲集 (第90巻) op.9-90
ショパンの夜曲集 (第91巻) op.9-91
ショパンの夜曲集 (第92巻) op.9-92
ショパンの夜曲集 (第93巻) op.9-93
ショパンの夜曲集 (第94巻) op.9-94
ショパンの夜曲集 (第95巻) op.9-95
ショパンの夜曲集 (第96巻) op.9-96
ショパンの夜曲集 (第97巻) op.9-97
ショパンの夜曲集 (第98巻) op.9-98
ショパンの夜曲集 (第99巻) op.9-99
ショパンの夜曲集 (第100巻) op.9-100

2018.1/13 (土) 7:00PM

全席指定 2,500円

【予約】ザ・シンフォニーホールセンター 06-6452-2333
【お問い合わせ】
ザ・シンフォニーホール (06) 6410-0517
【会場】ザ・シンフォニーホール

先行予約
7/26 (土)
一般発売
8/1 (土)

人気シリーズ記念すべき10回公演は、大友直人×牛田智大

＜名曲シリーズ＞大阪フィル×ザ・シンフォニーホール ソワレ・シンフォニー Vol.10



大阪フィルとザ・シンフォニーホールが主催する人気シリーズコンサート、ソワレ・シンフォニーの記念すべき第10回公演は、世界で活躍する指揮者大友直人、若き天才ピアニスト牛田智大という強力タッグが、創立70周年を迎える大阪フィルと共演する。曲もラフマニノフの「ピアノ協奏曲第2番」、チャイコフスキーの交響曲第6番「悲境」という名曲プログラム。開演前の大友直人によるプレトークも楽しみだ。

【指揮】大友直人

【ピアノ】牛田智大

【弦楽】大阪フィルハーモニー交響楽団
ラフマニノフのピアノ協奏曲 第2番 (第1楽章) 10.10
チャイコフスキーの交響曲 第6番 (第1楽章) 10.11

7/26 (土) 先行
8/1 (土) 一般

2017.11/16 (木) 7:00PM

A 5,000円 B 3,000円

【予約】ザ・シンフォニーホールセンター 06-6452-2333
【お問い合わせ】
ザ・シンフォニーホール (06) 6410-0517
【会場】ザ・シンフォニーホール

先行予約
7/20 (土)
一般発売
7/23 (火)

14人の実力派シャンソニエが一堂に集結！

シャンソン・セレクション 2017



この秋、ザ・シンフォニーホールに選りすぐりのシャンソニエ14人が集結し、コンサートを開催する。デビュー45周年を迎えた峰 大介や桑 頼、宝塚歌劇団出身の風かおる、寿ひずる、穂積ひかりなど、シャンソン界をリードする多彩なメンバーたちが続々とステージを繰り広げる。強力なバックバンドを携えて、豊潤で味わい深い歌声を存分に堪能しに、ぜひホールへ足を運んでいただきたい。

【歌手】峰 大介 桑 頼 風かおる

寿ひずる 荒尾一夫
真奈尚子 KOMA
星みつる 藤 佑樹 福井星子
松本かずこ 穂積ひかり
松井朋子 小嶋美子

7/20 (土) 先行
7/23 (火) 一般

2017.10/13 (金) 5:00PM

全席自由 6,000円

【予約】ザ・シンフォニーホールセンター 06-6452-2333
【お問い合わせ】
ザ・シンフォニーホール (06) 6410-0517
【会場】ザ・シンフォニーホール

発売中

時代を超えて愛され続ける「美しき」名曲たち

美しき日本のうた「ふるさと」



バリトン歌手 小松英典が、今年もザ・シンフォニーホールに「美しき日本のうた」を響かせる。今回は「ふるさと」をテーマに、「荒城の月」「赤とんぼ」「宵待草」、谷村新司の大ヒット曲「郷」など、故郷へ想いをはせる歌の数々を披露していく。ドイツ歌曲の第一人者として不動の地位を築いている小松英典の、唯一無二の歌声と円熟極める表現力。懐かしさや切なさを誘う名曲をじっくりと味わうことができるだろう。

【バリトン】小松英典

【ピアノ】塚田佳男

赤とんぼ 初音 宵待草
ふるさとの 平城山 落葉松
蘇州夜曲 長崎の鐘
津軽のふるさと
シクラメンのかほり 鐘 洋子

7/20 (土) 先行
7/23 (火) 一般

2017.10/21 (土) 7:00PM

全席指定 3,000円

【予約】ザ・シンフォニーホールセンター 06-6452-2333
【お問い合わせ】
ザ・シンフォニーホール (06) 6410-0517
【会場】ザ・シンフォニーホール



魂を持っていかれるような感動。 ギア・カンチェリの大曲 「ステュクス」に挑む センチュリーの9月



「『ステュクス』は人間にとって、一番遠くにある一歩に近いもの、やがて誰かが迎える『死』というものの不思議な、音楽を聴くことで体験できる、そんな作品だと思っています。きつと魂を持っていかれるような感動を味わうことができると思います」
丸山奏はそのように語る。

ギア・カンチェリは1935年生まれ、神秘的、瞑想的な作風は、同年代のエストニア出身の作曲家アルヴォ・ペルトと並んで語られることも多い。現在はベルギーを拠点に活動が続いているが、旧ソビエト時代には、日本でもカルト映画として知られる「不思議な星ギンザン」などの映画音楽も手がけている。再び丸山の言葉を耳を傾けてみよう。

「人間の魂というのは、音というものとでもよく似ている気がします。合唱が奏するフーという断片的な音だたり、ヴィオラの独特の響きだたり、『ステュクス』の中ではその魂の温度がすごく感じられると思います。煮えたぎる湯のような熱さとか、氷の表面に触れた時のような冷たさが音から伝わって来るようです。そして、ある調性で描かれてきた音楽が最後の最後、いきなり半音上がった終わる。それによって物語が断ち切られ、それまでになかった何かが現れて終



「ステュクス」の演奏を見ながら練習をする
飯森マエストロとヴィオラの丸山奏

日本センチュリー交響楽団は第219回定期演奏会に、首席指揮者の飯森範親を迎え、グルジア（現ジョージア）出身の現代作曲家ギア・カンチェリの「ステュクス」ヴィオラ、混声合唱と管弦楽のための「」を演奏する。「ステュクス」とは、ギリシア神話に登場する、生と死の境を流れる川の名前。ヴィオラ独奏とグルジア語（一部英語）の混声合唱を含むこの作品は、1999年、ユリ・バシメットの独奏により、ワレリー・ゲルギエフ指揮、マリインスキー管弦楽団によって初演されている。飯森範親は今回の演奏会について、「今、生きていることの意味を問う内容になれば」と語る。

ジョージ・ヴァチナーゼ初登場
ノスタルジーに溢れるラフマニノフ
コンサート前半にはラフマニノフのピアノ協奏曲第3番を取り上げる。ここではカンチェリと同郷、ジョージアの首都トビリシ出身のピアノリスト、ジョージ・ヴァチナーゼを迎える。演奏会に先駆けて、ヴァチナーゼは次のようなコメントを寄せてくれた。

「ラフマニノフは人生の最後の26年間を、故国ロシアを去って過ごしました。この第3番のロシアを去る以前に書かれていたにも関わらず、すでにノスタルジーや思慕に溢れています。彼の作曲技法はさまざまに変遷を重ねています。が、私にとってこの



作品は、かつて失われてしまい、それゆえにわれわれが常に悲しく思うものの象徴のように思われるのです」

すでに国際的に高い評価を収めているヴァチナーゼ。現在はシカゴに日本人の夫人とともに暮らし、音楽教育で有名なデポール大学で教鞭を執る。2年ほど奈良県に住んでいたこともあるという、知日家の顔も持っている。センチュリーとの初共演に臨んで

「クラシック音楽は私たちを、自分自身と向き合わせ、真の人間性や人生を見つめる旅に連れて行ってくれます。ザ・シンフォニー・ホール、たくさんのお客さまの前で演奏できることを感謝します。そして飯森マエストロと日本センチュリー交響楽団のみなさんとの初めての共演を心から楽しみにしています」と語っている。

首席ヴィオラ奏者丸山奏、渾身のソロ
「私は精神だけの存在となって弾く」
後半、「ステュクス」の演奏で、名手バシメットの曲に書かれたソロ・パートに挑むのは、首席ヴィオラ奏者の丸山奏。センチュリーでの演奏と並行してソロ活動も行い、今年ドイツで開催されたアントン・ルービンシュタイン国際コンクール・ヴィオラ部門では第2位入賞を果たすなど、高い評価を獲得している。



「いろいろな年代の人がいて、いろいろな形で人生や死を感じる。ことがあると思うんです。私なども最近折りに触れて思うのは、自分分は、生きているのではなくて、生かされているのだということ。ならばそのことの大切さを、この『ステュクス』という作品で表してみようというのがテーマでもあるんです。この作品の合唱の最後は「JOY」という言葉で終わるんですが、これは何を表しているんでしょうか？ たぶん、楽しもう、という意味だけではないような気がするんです。答えはありません。でもそれが何なのか、お客さまひとりひとりに感じていただくような演奏にしたいと思っています」

飯森範親はそのように語っている。

（取材・文 遠坂 昭也 / 音楽ライター）

センチュリー・ウェブマガジン 始めました！

CENTURY WEB MAGAZINE

注目公演のご紹介や、楽員のお気に入りをご紹介するコラム、演奏会やオーケストラを楽しむヒントが一杯のトピックスなど、内容盛りだくさんです！

毎月初めに配信中！
ぜひご覧ください。

第219回 定期演奏会

プログラム
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第3番 ニ短調 作品30
カンチェリ：ステュクス ヴィオラ、混声合唱と管弦楽のための

【指揮】飯森 範親
【ピアノ】ジョージ・ヴァチナーゼ
【ヴィオラ】丸山 奏 【合唱】パツハアカデミー合唱団

2017
9.15 金 19:00開演 (18:00開場) **・16 土** 14:00開演 (13:00開場) 発売中！

会場：ザ・シンフォニーホール A席 6,000円 / B席 4,500円
C席 3,500円 / D席 1,500円

2017-18シーズン プログラムはこちら！

チケットのお求めはこちら

- センチュリー・チケットサービス TEL.06-6868-0591 (平日10:00～18:00)
- ザ・シンフォニー チケットセンター TEL.06-6453-2333 (10:00～18:00 休館日)
- センチュリー・ネットチケット <http://www.century-orchestra.jp/ticket/>

主催・共同会：公益財団法人日本センチュリー交響楽団 TEL.06-6868-3030 <http://www.century-orchestra.jp/>

Q 日本センチュリー 検索

オフィシャルスポンサー

MKグループ / ONKYO / KANEKA / 共栄法律事務所 / KINCHO / Takushimaya

基幹コンストラクショングループ / TOA株式会社 / TOYO TIRES / 日本ペイント・ホールディングス

音楽を愛する団体が集い、夢を発信する「ザ・シンフォニーホール」。

多くの団員が楽器製作に携わり、楽器を知り尽くす『匠のバンド』、ヤマハ吹奏楽団。
「アマチュア音楽は音楽の本道である」の精神のもと、今年創立50周年を迎える芦屋交響楽団。
2年ぶりのザ・シンフォニーホール公演を控える2楽団からのメッセージをお届けします。

MESSAGE

ヤマハ吹奏楽団

発売中

ヤマハ吹奏楽団はヤマハ株式会社およびヤマハグループの社員で構成し、静岡県浜松市を拠点に活動しています。メンバーの多くは実際に管楽器や打楽器を製作しており、「匠のバンド」ともいわれる世界でも稀有な吹奏楽団です。

主な活動は浜松での自主公演からヤマハ野球部の応援まで多岐にわたります。昨年は全日本吹奏楽コンクールにおいて全部門最多となる33回目の金賞を受賞しました。また、新たな取り組みとして大都市圏での自主公演の開催を隔年で企画し、

2015年には団として初となる「大阪特別公演」をこざ・シンフォニーホールで開催させていただきました。大きな反響をいただきました。

今回お届けするプログラムは、吹奏楽の名曲「アルメニアン・ダンスパート」や「フランス組曲」をはじめ、「宝島」などの多彩なジャンルに加え、須川展也氏の吹き出しによる「シーガル」や「マイ・ラブ」も見逃せません。また、長生淳氏に編曲を依頼しドラマチックに仕上げられた「サウンド・オブ・ミュージック」は、パイプオルガンも入った吹奏楽の豪華な響きをお楽しみいただけます。

ホールでも最高峰とされるザ・シンフォニーホールの舞台上の響きと匠たちの織り成す音楽に是非ご期待ください。



ヤマハ吹奏楽団 特別公演2017 奏でる匠のオト
(指揮・サウンド・オブ・ミュージック 須川展也(兼任指揮者))
(吹奏楽)ヤマハ吹奏楽団

R.ロジャース/作曲 音: サウンド・オブ・ミュージック
C.エズリス: アウスティン/ヴァリエーション
舞臺組曲: シーガル
P.マッカードニー/宮川祐典 石毛里生: マイ・ラブ
和州組曲/真島俊之: 宝島
A.リット: アルメニア・ダンス・パートI
D.ミヨー: フランス組曲

2017.10/1(日) 2:00PM S 2,500円 A 2,000円 B 1,500円
(ご予約)ザ・シンフォニー・チケットセンター 06-6453-2333
(お問い合わせ)ザ・シンフォニー・チケットセンター 06-6453-2333

MESSAGE

芦屋交響楽団

9/15発売

私共「芦屋交響楽団」は1967年7名の有志により「芦屋ボクソフスオーケストラ」として設立、1970年に「芦屋交響楽団」に改称しました。現在の団員数は約100名で年に2回の定期演奏会と地元でのチャリティコンサート等を開催しています。創立10周年を迎えた1977年に故芥川也寸志氏を音楽監督に招聘し「アマチュア音楽は音楽の本道である」の精神に基づき演奏活動を続けて参りましたが、今年で創立50周年を迎えることができました。

これまでも節目に色んな地域へ演奏旅行を実施してまいりましたが、50周年の今年は11月3・5日に宮城県石巻市と大河原町で演奏会を開催する予定です。山下一史氏に客演指揮としてのご指導と、地元の方々にも演奏にご協力いただき、音楽を



芦屋交響楽団 第86回定期演奏会 ~ 創立50周年記念演奏会 ~
(指揮)山下一史 (客演)芦屋交響楽団

プログラム: 大学校典序曲 op.80
シンデレラ フェーバーの主題による交響的脱線
チャイコフスキー: 交響曲 第5番 op.64

2017.11/19(日) 4:00PM 演奏開始 2:00PM
(ご予約)ザ・シンフォニー・チケットセンター 06-6453-2333
(お問い合わせ)芦屋交響楽団 事務局 090-3671-4148

通じて文化交流が出来ればと願っております。今回11月19日のザ・シンフォニーホールでの定期演奏会には、この東北演奏旅行で得た感動とエネルギーを山下氏のタクトでブラームス、ヒンデミット、チャイコフスキーの演奏を通じて皆様にお伝えしたいと思っています。演奏旅行の模様はロビーでの展示やパンフレットで紹介させていただきます。

2016年2月までの開催予定公演

創価学会 関西21世紀交響楽団
大阪大会(10月10日)・(11月10日)・(12月10日)

2017.7/17(月)

パナソニック合唱団
パナソニック合唱団 第42回定期演奏会

2017.8/2(日)

大阪市民管弦楽団
第86回定期演奏会

2017.9/3(日)

関西シティフィルハーモニー交響楽団
第83回定期演奏会

2017.9/24(日)

ヤマハ吹奏楽団
大阪特別公演2017-奏でる匠のオト

2017.10/1(日)

同志社交響楽団
第89回定期演奏会

2017.11/5(日)

芦屋交響楽団
第88回定期演奏会

2017.11/19(日)

関西大学応援団吹奏楽部
第56回定期演奏会

2017.12/15(金)

関西学院
クリスマス・コンサート

2017.12/18(月)

龍谷大学吹奏楽部
第44回定期演奏会 大規模公演

2017.12/25(月)

京都大学交響楽団
京都大学交響楽団第202回定期演奏会

2018.1/15(月)

関西シティフィルハーモニー交響楽団
第84回定期演奏会

2018.2/11(日)

早稲田大学高等学校ウィンドバンド
第59回定期演奏会

2018.2/24(土)

The Symphony Hall 開館35周年 ザ・シンフォニーホールの新たな顔が1Fロビーに登場!



菅原 健彦 「臥龍の松」

2017年スタートの松シリーズ 一巻の大作 (高さ205cm×横265cm)

ザ・シンフォニーホールの開館35周年を記念して、ホール1Fロビー正面階段に、絵画「臥龍の松」が設置されました。この絵画は、近畿学園グループ 会長 浮舟順彦氏より、「ザ・シンフォニーホールがこれからの50年、100年後も大阪の文化のよりどころであり続けるように」という想いを込めて、贈られたものです。ご来館の際に、ぜひご覧ください。



画家 菅原 健彦
1982年東京生まれ 55歳
多摩美術大学絵画科日本画専攻卒業
現在、滋賀県大津市在住
京都造形芸術大学教授

カウントダウン& ニューイヤーコンサート 2017-2018開催決定!!



ザ・シンフォニーホールが年越しを華やかにお届けする、カウントダウン&ニューイヤーコンサートの開催が2017-2018年も決定しました。昨年は音楽の都、パリを中心に活躍する歌手やダンサーが集結し、年越し、年明けにふさわしい迫力満点のオペラアリアを繰り広げました。2017-2018もお客様に素敵な時間を楽しんでいただくべく、豪華ステージをご用意しております。詳細は次号のシンフォニアにて発表しますので、楽しみにお待ちください!!



ザ・シンフォニーホール サ・シンフォニー チケットセンター 休館のお知らせ

誠に勝手ながら、下記の期間、設備工事のため休館とさせていただきます。

また、システムメンテナンスのため、ザ・シンフォニーチケットセンターの窓口・電話・WEB販売も下記の期間、休止させていただきます。

ザ・シンフォニー
チケットセンター
休業

2017年8月4日(金)18:00~
~8月17日(金)

休館

2017年8月7日(月)
~8月17日(金)

皆様に伴う大変ご不便をお付けいたしますが、何卒ご了承くださいませよう。お願い申し上げます。

お知らせ

シンフォニアVol.19(2017年1月10日発行号)にて告知しておりました「パウル・パドゥラースはダ・ビアン・リサイタル」は、パウル・パドゥラースご本人の体調不良により、来日が不可能となったため、やむなく公演が中止となりました。公演を楽しみにしていた皆様には、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



ABCアナウンサー
堀江政生の

シンフォニア・アワー

クラシックの意外な裏話や、ザ・シンフォニーホールにまつわる話など、
ここだけのとっておきエピソードをご紹介します。



vol.22 ザ・シンフォニーホールがタイムマシンに

オーケストラの演奏というと、椅子や譜面台などが所狭しと並び、開演の時を待っている。しかし、その日のザ・シンフォニーホールは、まったく違っていました。

舞台上にはエクリプスのスピーカーが長短を合わせて10本のみ。スピーカーは四角ではありません。両端型です。その丸い目玉を長い足が支えています。あたかも潜水艦の潜望鏡が整列してこちらの様子を伺っているかのよう。その奥には、600インチという桁外れに巨大なスクリーンが、ホールのシンボル、パイプオルガンをすっぽり隠していました。

「大阪フィルハーモニー交響楽団創立70周年 朝比奈隆の軌跡 オン・スクリーン」それがその日の演目でした。

朝日放送は、長年に渡り朝比奈隆さん＝大阪フィルの演奏会を数多く収録してきました。その中で、まさにザ・シンフォニーホールで収録したものを、ザ・シンフォニーホールで再現したのです。

80歳代から亡くなる5ヶ月前の93歳の朝比奈さんがスクリーンに大写真に。未来的な形をしたスピーカーからは、かつてその場所で奏でられた大阪フィルの音が蘇る。シューベルト、ベートーヴェン、そしてブルックナー。そのほとんどの演奏会に行っていた私は、朝比奈さんだけでなく、過去の自分に会っていた…。そう、ザ・シンフォニーホールがタイムマシンになったのです。特に私は報道アナウンサーをしていたので、〇〇年〇〇月の演奏会と聞くと、「このコンサートは、ちょうど××の事件を取材していた頃に行ったな～」などと思い出し、その時の気持ちまで蘇ってきました。

高校時代から朝比奈さんに憧れ、東京公演は必ず聴きに行っていた関東人の私が、縁があって大阪の朝日放送に、「この空間が、何かあったときに精神的に支えてくれた」。

巨額を熱くしながら、はや次のタイムマシンに乗る機会を待ちわびています。

公演の聴きどころ、豪華ゲストを招いてのお話など、名曲とともにご紹介！

堀江政生のザ・シンフォニーホール・アワー

ABCアナウンサー堀江政生が、豊富なクラシックの知識を余すところなく語る30分。

1008 ABCラジオ

毎週日曜日
お昼7時5分～7時35分

rouge 秋のカナダ 7日間の旅

旅行代金 **428,000円** 旅行実施日 2017年9月23日(土)～2017年9月29日(土)



1日目	06:00(現地) 成田空港からニューモントレージュまで飛行機で移動 → カルガリーへ 【夕食】 高層ビル、ホテルへ移動して、夕食。	【宿泊】 カルガリー・エドモントンホテル
2日目	08:00 カルガリーで朝食後、歴史博物館へ移動。 レイアウト、サウスフォーク、リバー・ビュー、 リバー・ビュー、エドモントンの観光地、エドモントン	【宿泊】 カルガリー・エドモントンホテル
3日目	08:00 カルガリーで朝食後、エドモントンへ移動。 エドモントンの観光地、エドモントンの観光地、エドモントンの観光地	【宿泊】 カルガリー・エドモントンホテル
4日目	08:00 カルガリーで朝食後、エドモントンへ移動。 エドモントンの観光地、エドモントンの観光地、エドモントンの観光地	【宿泊】 カルガリー・エドモントンホテル
5日目	08:00 カルガリーで朝食後、エドモントンへ移動。 エドモントンの観光地、エドモントンの観光地、エドモントンの観光地	【宿泊】 カルガリー・エドモントンホテル
6日目	08:00 カルガリーで朝食後、エドモントンへ移動。 エドモントンの観光地、エドモントンの観光地、エドモントンの観光地	【宿泊】 カルガリー・エドモントンホテル
7日目	08:00 カルガリーで朝食後、エドモントンへ移動。 エドモントンの観光地、エドモントンの観光地、エドモントンの観光地	【宿泊】 カルガリー・エドモントンホテル

7月 7 15



開催日	曜日	時間	催 進 名	出 演 者	曲 目	料 金 (円)	お問い合わせ先
15	土	16:00	N響7歳)2017	指揮/ラファエル・パナール Viola/Antonio・レーン 独小ホルン交響楽団	ブラームス：交響曲第1番 第1楽章 op.68 ブルックナー：バイオリン協奏曲 第1番 第1楽章 op.24 チャイコフスキー：交響曲 第4番 第4楽章 op.36	¥ 7,200 A ¥ 5,200 B ¥ 3,200	サントリー インフォメーション 0570-200-888
16	日	14:00	デトロイト交響楽団 日本ツアー2017	指揮/スティーヴン・マッティ 独小ホルン交響楽団 独小ホルン交響楽団	バーンスタイン：(サン・ディエゴ) 序曲 モーツァルト：ピアノ協奏曲 第20番 ガーシュウィン：ゴッド・バイ・ブルー チャイコフスキー：交響曲 第4番 第4楽章 op.36	¥ 14,000 A ¥ 11,000 B ¥ 8,000 C ¥ 6,000	カシオ・インフォメーション 0570-06-9900
17	月・火	18:20	[7・3][7・17]60周年記念 「師弟の心 劇団のハーモニー」	指揮/橋本 清太郎 独小ホルン交響楽団 独小ホルン交響楽団 独小ホルン交響楽団	ベートーヴェン：交響曲 第2番 第4楽章 学生曲	(公演による抽選)	劇団音楽部 05-6760-3168
21	金	13:20	Korea Month 2017 ~友情と希望~ 映画「ザ・テノール 真実の物語」上映会 & トークショー with 韓流 東大郎	独小ホルン交響楽団 独小ホルン交響楽団 独小ホルン交響楽団	「ザ・テノール 真実の物語」 THE TENOIR (RICO SPINTO)	(全席自由席・事前申込制) 申込締切:7/12(水)	大阪府文化財 06-6292-8760
21	金	19:00	Korea Month 2017 ~友情と希望~ ペー・チュチュ・特別コンサート	独小ホルン交響楽団 独小ホルン交響楽団 独小ホルン交響楽団	You Raise Me Up・Time To Say Goodbye 独小ホルン交響楽団 独小ホルン交響楽団	(全席自由席・事前申込制) 申込締切:7/12(水)	大阪府文化財 06-6292-8760
22	土	14:00	デュ・グ・エイセス ~62年目のコンサート~	デュ・グ・エイセス デュ・グ・エイセス デュ・グ・エイセス	ドビュッシー：協奏曲 山崎和佳奈さん、生きたものの歌	¥ 1,000	エス・ピー・エス 06-6204-6412
22	土	19:30	The Symphony Hall 和太鼓 和太鼓 開演2017	和太鼓 和太鼓 和太鼓 和太鼓 和太鼓 和太鼓	和太鼓	¥ 3,000	エス・ピー・エス 06-6204-6412
23	日	14:00	小林研一郎の「夏休み・名曲恒例」	指揮/小林 研一郎 P/金子 三孝士 独小ホルン交響楽団	ドヴォルザーク：交響曲 第1番 ブラームス：ピアノ協奏曲 第1番 グリーグ：ピアノ協奏曲 第1番 ラヴェル：ピアノ協奏曲 第1番	A ¥ 5,000 B 売切 C 売切	ABCチケット インフォメーション 06-6453-6000
25	火	14:00 18:00	YUMI KATSURAX JIKEI GRAND COLLECTION in OSAKA ~LOVE SONG LOVE DANCE LOVE FASHION~	独小ホルン交響楽団 独小ホルン交響楽団 独小ホルン交響楽団	独小ホルン交響楽団 独小ホルン交響楽団 独小ホルン交響楽団	¥ 5,000	サントリー インフォメーション 0570-200-888
27	木	19:00	大阪交響楽団 第211回定期演奏会	指揮/スティーヴン・マッティ 独小ホルン交響楽団 独小ホルン交響楽団	モーツァルト：交響曲 第24番 ショスタコヴィッチ：交響曲 第4番 モーツァルト：交響曲 第24番 モーツァルト：交響曲 第24番	A 売切 B 売切 C 売切 D ¥ 1,000 E ¥ 2,000 F ¥ 3,000 G ¥ 4,000	大阪交響楽団 072-226-5522
28	金	16:30	ヤマハ・ハイライト・コンサート in OSAKA 2017	ヤマハ・ハイライト・コンサート ヤマハ・ハイライト・コンサート ヤマハ・ハイライト・コンサート	ヤマハ・ハイライト・コンサート ヤマハ・ハイライト・コンサート ヤマハ・ハイライト・コンサート	前席 ¥ 2,500 後席 ¥ 3,000	ヤマハ・音楽部 05-6531-8019
29	土	13:00	横山幸雄 ドラマティック大コンチェルト2017	指揮/横山 幸雄 独小ホルン交響楽団 独小ホルン交響楽団	モーツァルト：ピアノ協奏曲 第24番 ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番 チャイコフスキー：ピアノ協奏曲 第1番 ラヴェル：ピアノ協奏曲 第1番	A ¥ 8,000 B 売切 C 売切	ABCチケット インフォメーション 06-6453-6000
29	土	19:00	オールパッサン音楽団 真夏のオルガンコンサート 2017	指揮/真夏の音楽団 独小ホルン交響楽団 独小ホルン交響楽団	モーツァルト：ピアノ協奏曲 第24番 ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番 チャイコフスキー：ピアノ協奏曲 第1番 ラヴェル：ピアノ協奏曲 第1番	全席指定 ¥ 2,000	ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
30	日	14:00	サマー・ポップス・コンサート	指揮/真夏の音楽団 独小ホルン交響楽団 独小ホルン交響楽団	モーツァルト：ピアノ協奏曲 第24番 ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番 チャイコフスキー：ピアノ協奏曲 第1番 ラヴェル：ピアノ協奏曲 第1番	A ¥ 5,000 B 売切 C 売切	ABCチケット インフォメーション 06-6453-6000

チケットご購入方法

お電話で購入

ザ・シンフォニー チケットセンター 11:00~18:00 (土曜・日曜・祝日も営業)

06-6453-2333

窓口で購入

ザ・シンフォニー チケットセンター 11:00~18:00 (土曜・日曜・祝日も営業)

※半日券は必ず1枚ずつ購入。

シンフォニア会員先行予約開始の3日前までの取り扱いがございます。

※お取り扱い店舗に問い合わせては、23~25ページの公演カレンダーをご覧ください。

※お問い合わせ先、手数料等については、ザ・シンフォニー チケットセンターへお問い合わせください。また、サントリー・ホール・ホームページをご覧ください。

インターネットで購入

ザ・シンフォニーホール ホームページ

http://www.symphonihall.jp/

・公演スケジュールページの「TICKETマーク」が付いている公演を選択。

・「チケット購入」ボタンをクリックし、チケット購入サイトへ。

・先行予約・一般発売は発売日の午前10時からご利用いただけます。

8月

開催日	曜日	会場名	出演者	曲目	料金(円)	お問い合わせ先
4	金	ライト・シンフォニック コンサート ～大人の祝典～	指揮/大田 基 Or/村田 真一 管/大阪交響楽団 ナビゲーター/関西 和幸	ルビー・ラ・マール(第1)「わたしの心」 タレガ:「アルハンブラの思い出」 マイヤーズ:「秋の情景」 フアラ:「秋の情景」 グロヴ・ア・リョート・アンサンブル	¥3,000 A 4,000	ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
5	土	関西フィル 第3回親子定期演奏会 ～クラシック音楽の体験に出会う 家族の特別な夏休み～ Open★the★Orchestral	指揮/お島/篠田 幸夫 Or/西 英子 管/関西フィルハーモニー管弦楽団	チャイコフスキー:「白鳥の湖」 モーツァルト:「交響曲第40番」 エルガー:「行進曲」	A 4,000 B 3,000 小学生以下 1,500 子ども(4才～中学生) 一律 1,500	関西フィル事務局 06-6577-1381
6	日	大阪シンフォニック クワイア演奏会 ハイドン オラトリオ「天地創造」	指揮/高橋 幸雄 管/京都府交響楽団 合唱/大阪シンフォニック クワイア シブサキ 陽子 T/中崎 亮 B/青山 真	ハイドン:「オラトリオ」	¥3,500(席前指定) A ¥5,000(席前指定) B ¥3,500(席前指定)	大阪シンフォニック クワイア 090-9110-2581(席前) 072-854-1406(席前)
19	土	プロジェクションマッピングメロディオルガン ～今年の夏も、パイプオルガンが スゴいぞ～	Or/石井 中雄	「パイプオルガン」 「パイプオルガン」 「パイプオルガン」	全席指定 ¥2,500 ※14:00公演は完売	ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
20	日	ズーラシア・フィルハーモニー管弦楽団	指揮/高橋 幸雄 管/ズーラシア・フィルハーモニー管弦楽団	「ズーラシア・フィルハーモニー管弦楽団」	¥4,500 A ¥3,500 B ¥2,500	ズーラシア・フィル 052-678-5318
26	土	大阪交響楽団 第97回名曲コンサート 「モーツァルトのモーツァルト」	指揮/Vincent/高橋 幸雄 Or/M. 七世 管/大阪交響楽団	モーツァルト:「ヴァイオリン協奏曲 第3番」 モーツァルト:「ヴァイオリン協奏曲 第4番」 モーツァルト:「ヴァイオリン協奏曲 第5番」	¥3,500 A ¥3,000 B ¥1,500 ※13:30公演は完売	大阪交響楽団 072-226-5522
27	日	原田貞夫 「CALIFORNIA SHOWER 2017」	A.Sax/原田 貞夫 Or/トニー・アースキン B/トニー・アースキン P/M 正樹	CALIFORNIA SHOWER	¥3,500 A ¥3,000 B ¥2,500	東京音楽 03-5774-3030 otomawa 075-252-8295
28	月	大阪交響楽団 「光と輝きで楽しむオーケストラ」Vol.9	指揮/高橋 幸雄 Or/高橋 幸雄 管/大阪交響楽団	「光と輝きで楽しむオーケストラ」	¥2,500 A ¥2,000 B ¥1,500 (0歳以下6小児) ¥1,500 A ¥1,000 B ¥500 ※全席は未就学児不可	ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 大阪交響楽団 072-226-5522
30	水	大和証券グループ Presents 西本哲夫指揮 イルミナート・フィルハーモニーオーケストラ with さだまさし	指揮/西本 哲夫 Or/さだまさし 管/イルミナート・フィルハーモニーオーケストラ	「イルミナート・フィルハーモニーオーケストラ」	¥10,000 A ¥8,000	千代田 インフォメーション 0570-200-688

関西フィルがお贈りする秋の2公演! デュメイのブラームスと藤岡のシベリウス!

関西フィルハーモニー管弦楽団

第286回定期演奏会

満ちたロマン。各の魔術師デュメイのブラームス「第1番」&関西フィルコンサートマスター岩谷祐之のヴァイオリンとゴムツァコフのチェロが歌う二重協奏曲

ブラームス: ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲 イ短調 op.102(*)
交響曲 第1番 ハ短調 op.68

指揮/オーギュスタン・デュメイ

第ヴァイオリン/岩谷祐之(*)

第チェロ/バグダディ・ゴムツァコフ(*)

管弦楽/関西フィルハーモニー管弦楽団



デュメイ 岩谷祐之 トムツァコフ

2017.9/20(水) 7:00pm

全席 ¥6,000円 A席 ¥4,500円 B席 ¥3,000円 C席 ¥2,000円

お問い合わせ: 関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6577-1381

主催: 関西フィルハーモニー管弦楽団 後援: 関西経済連合会

第287回定期演奏会

北沢からの超絶技。藤岡のシベリウス・ツィグルス第5回「第5番」&クラシックの未来を担う若きピアニスト松田華音のグリーグ

大島ミチル: サマー・ソング・そして家へ(恒編)(世界初演)

グリーグ: ピアノ協奏曲 イ短調 op.16

シベリウス: 交響曲 第5番 変ホ長調 op.82

指揮/藤岡幸夫

ピアノ/松田華音

管弦楽/関西フィルハーモニー管弦楽団



藤岡幸夫 松田華音

2017.10/19(木) 7:00pm

全席 ¥6,000円 A席 ¥4,500円 B席 ¥3,000円 C席 ¥2,000円

お問い合わせ: 関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6577-1381

主催: 関西フィルハーモニー管弦楽団 後援: 関西経済連合会 後援: 関西経済連合会

●「ジョッキー」の料金はすべて消費税込みの価格です。●開催内容は変更になる場合がございますが、予めご了承ください。●リハーサルは開演前夜にしたい場合がございます。●抽選席と並列の席には対応できません。●公演情報は各公演の告知先に記載いたします。

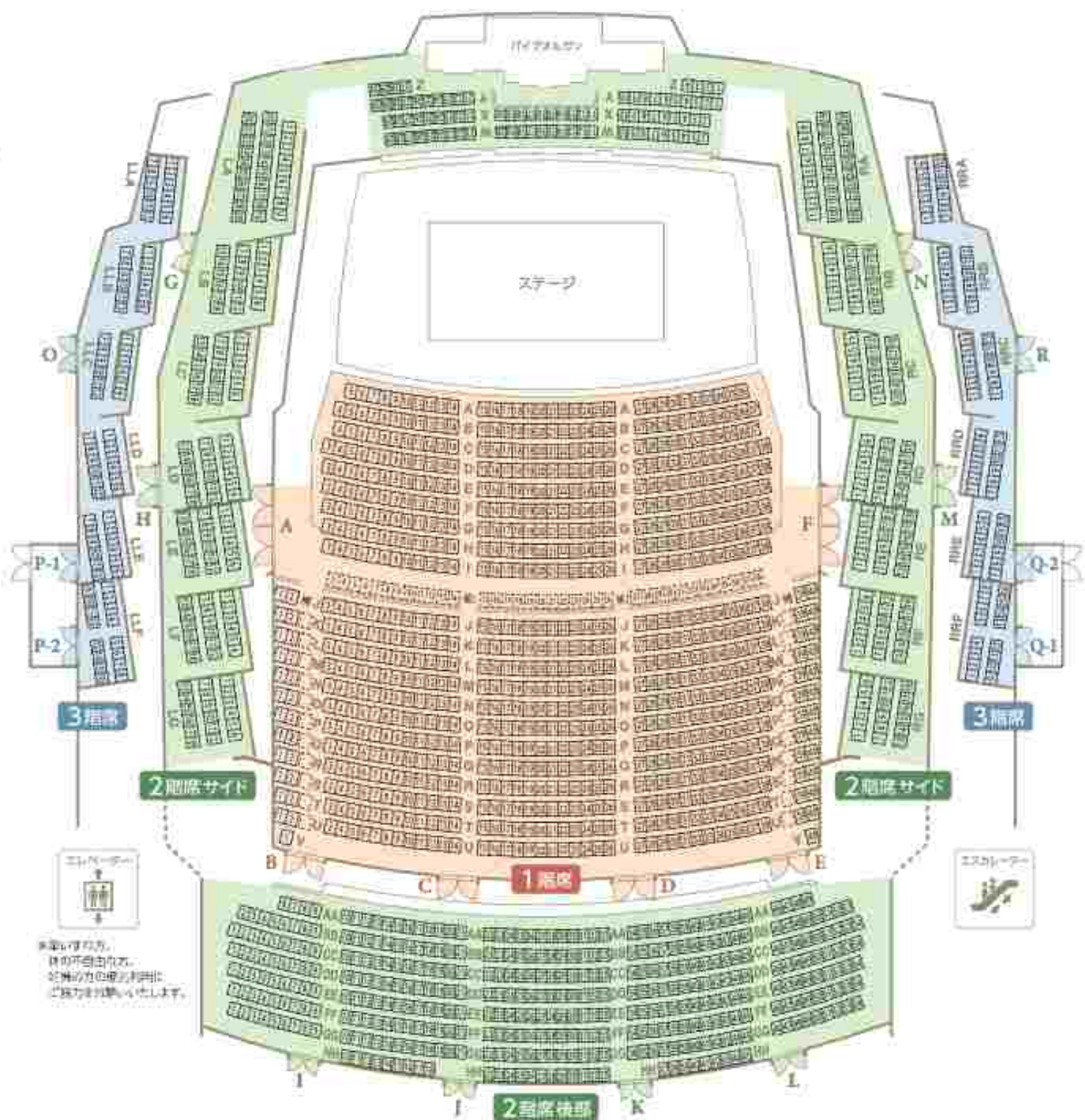
For a Lively World

大成建設株式會社



ザ・シンフォニーホール座席表

The Symphony Hall



よりスムーズに鑑賞いただけますよう、席席と歩道の位置をご確認ください。

階	席	座席番号	エレベーター ボタン表示
3F	3階席	席: AA ~ LL 席: O / P / Q / R 席: RR ~ RR 席: Q / Q / R	1
4F	2階席サイド	席: LA ~ LS 席: G / H 席: RA ~ RS 席: M / N	2
5F	1階席	席: A ~ V 席: B / C / D / E / F	1
3F	2階席サイド		2
1F	1階席		1
2F	2階席		2
3F	3階席		3
4F	4階席		4
5F	5階席		5
6F	6階席		6

計1,704席 □ 座席58席 計座席83席